



学校だより



令和6年 9月30日
10月号
調布市立第一小学校
校長 樋川 宣登志

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> TEL042(481)7636

子どもの頃の負けや失敗は財産です。

副校長 山崎 清香



1990年代に漫画とアニメが大ヒットした「SLAM DUNK」をご存じですか？私は、学生のころ、何度も漫画やアニメを見て興奮していました。そして、2022年映画化されると聞き、嬉しくてたまらず、すぐ映画館に足を運びました。さらに、今年の復活上映も鑑賞し、同じ場面で感動し、同じ場面で泣いて帰ってきました。

さて、今回映画を見て忘れられなかったのは、漫画の主人公桜木花道、この映画では主人公となる宮城リョータではなく、相手チームの山王高校の沢北選手でした。

映画はバスケットボールのインターハイ2回戦、主人公率いる湘北高校VS全国大会に何度も優勝している山王高校。山王高校は、常勝が当たり前。でもそう言われるまでに、エース沢北は、人並ならぬ苦勞をしてきました。インターハイ前には、さらに自分の成長を求め「僕に必要な経験をください。」と神社で祈ります。

しかし、結果は、2回戦で無名のチームに1点差で敗れることとなり、号泣します。ただ、映画の最後には、彼がNBAの試合に出場している場面で終わっています。

まさに、神は、彼に「必要な経験＝敗北」を与えたと言っても過言ではありません。

「勝ちたい」気持ちはだれでも同じ。負けたら悔しいし、悲しいのです。でも「負け」から学ぶことはたくさんあるのです。何がうまくいかなかったのか、そして、次にどうすれば良いのかを考える。それが、技術や戦略を向上させていくことになります。そこから得ることはその人にとってとても大きな力になっていくことでしょう。

負けと同じように失敗の経験は、より一層子どもたちに必要です。本校724名の児童が一緒に生活している学校生活の中では、様々な出来事が起こります。時にはうまくいかないことも出てきます。悲しく落ち込んだり友達ともめたり、先生に叱られたり…失敗をもとに、どうしたらよいのかを学び、一つ一つ乗り越えながら歩んでいます。その一つ一つの経験や失敗は、今後の人生の中で、大きな味方になってくれるのです。

子どもの頃の失敗は財産です。負けたことを次へのステップと考え、新しいことに挑戦していく前向きな子どもたちを育てていきたいです。そのために、私たち大人は、子どもや自分が失敗したときに、相手や誰かを批判するのではなく、大きく広い心で、子供たちを見守り続けていきたいものです。

10月の生活目標 すすんで仕事をしよう

学校では、いろいろな人が力を合わせながら働いています。教員はもちろん、給食のメニューを考える栄養士、給食を調理する調理員、皆が使っているものをそろえる事務主事、学校の安全を守る用務主事・校舎管理補助員など様々です。協力しながら働くことのよさに気付かせ、子どもたちに、すすんで仕事をすることの大切さや喜びを理解させたいと思います。

みんなのために役立つ仕事を積極的に行うことのできる子どもであってほしいと思います。